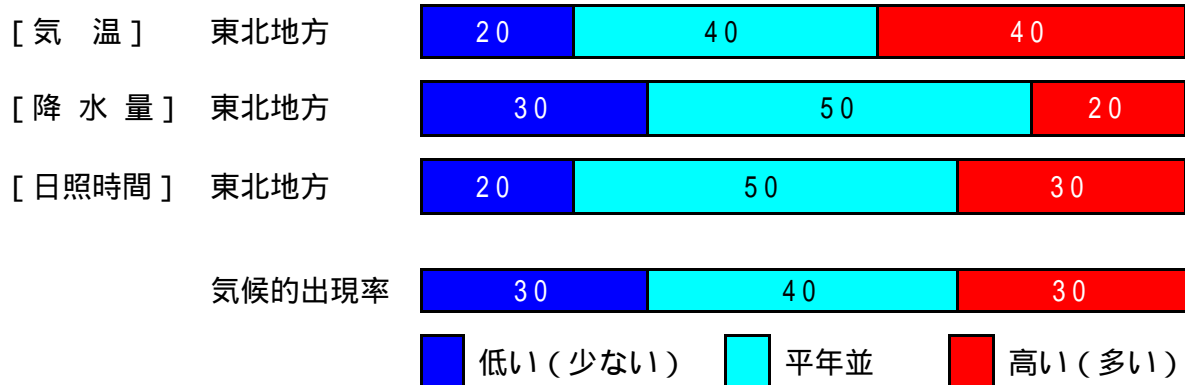


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：3 月 4 日～4 月 3 日）

平成 12 年 3 月 3 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「平年並」か「高い」の可能性が最も大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「低い」の確率は 20％と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「少ない」で、その確率は 30％です。「多い」の確率は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、この期間天気は周期的に変化するでしょう。期間の前半は気圧の谷の通過後、一時冬型の気圧配置となる見込みです。このため、期間の前半の気温は平年並ですが、寒暖の変動が大きいでしょう。後半は平年より暖かい日が多くなる見込みです。

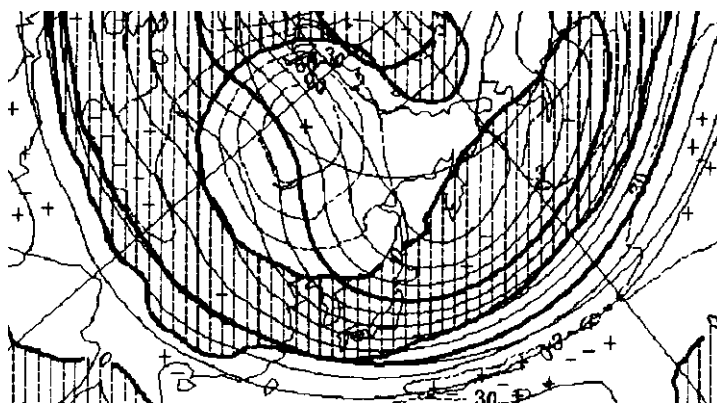
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北日本海側で約 17 日、東北太平洋側で約 22 日です。

各予報期間の天候の特徴

- 1 週目…………… 向こう一週間は、気圧の谷が4日から5日にかけてと7日頃通り、
(3月4日～3月10日) 天気がくずれる見込みです。その後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪か雨が降り、東北太平洋側の沿岸部ではおおむね晴れるでしょう。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約3日、東北太平洋側で約5日です。
- 2 週目…………… 天気は周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置に
(3月11日～3月17日) なりますが弱いでしょう。東北地方は平年同様晴れの日が多い見込みです。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約4日、東北太平洋側で約5日です。
- 3～4 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。東北地方は平年同様晴れの日が
(3月18日～3月31日) 多い見込みです。
平均気温は高い見込みです。
平年の晴れ日数は東北日本海側で約8日、東北太平洋側で約9日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・500hPa 高度・偏差

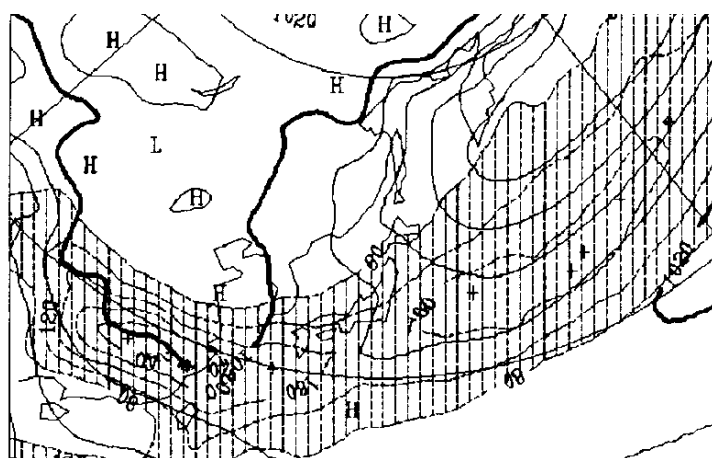
月平均でみると、日本付近は弱い負偏差に覆われる。バイカル湖付近の気圧の尾根が明瞭で一時寒気の南下が予想される。特に1週目(図略)、2週目(図略)には、西日本を中心に寒気が南下しやすい。3～4週目には日本付近は正偏差に覆われ、ゾーナル傾向で、天気は周期的に変化する見込み。

注 ゾーナル：偏西風の南北の蛇行が小さい状態。低気圧や高気圧が順調に東進し、天気は周期的に変化する。

・地上気圧と降水量

月平均でみると、北日本では等圧線の間隔が広く、弱い冬型の気圧配置を示す。また、日本付近には降水域が東西に広がり、本州南岸沿いで比較的明瞭である。

週別(図略)では、1週目は冬型の気圧配置を示すが、2週目以降は冬型の気圧配置はくずれ、周期変化が基調となり、降水域の広がりや月平均と同様。

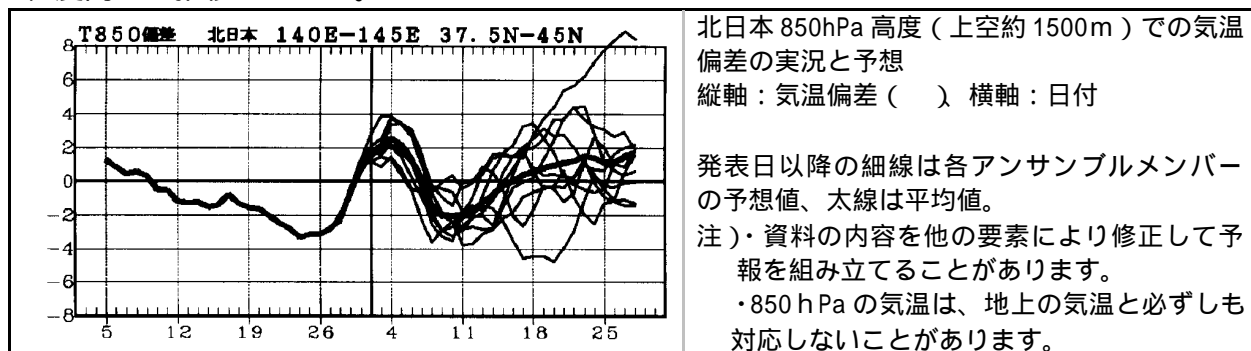


月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

3．北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、1 週目初めは正偏差で、1 週目後半は負偏差に変わる。2 週目後半から 3～4 週目にかけて正偏差となる。2 週目以降バラツキは大きくなるが、変化傾向はおおむね一致しており、信頼度は並程度。

最近の実況では、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850hPa の気温平年差に比べて 1 程度高めめに推移している。

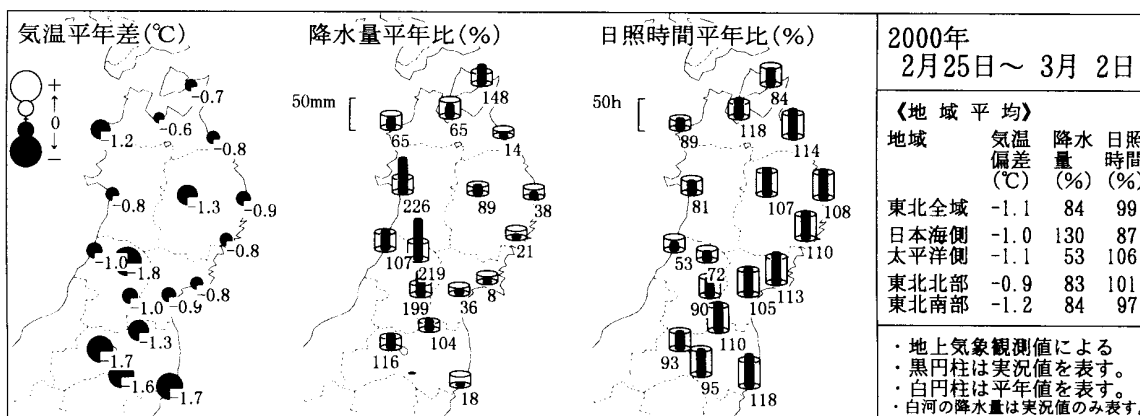


注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4．最近 1 週間（2 月 25 日～3 月 2 日）の天候の経過

この期間、強い冬型の気圧配置の日が続き、しばしば上空に強い寒気を伴った低気圧が通過した。このため、東北日本海側では雪の日が続き、東北太平洋側では概ね晴れたが、強い寒気の影響で雪となる日もあった。

平均気温は、東北地方で平年差 -1.1℃と、先週に引き続き平年を下回った。降水量は、東北日本海側で平年比 130%と平年を上回り、東北太平洋側では平年比 53%と平年を下回った。日照時間は、東北日本海側で平年比 87%と平年を下回り、東北太平洋側で平年比 106%と平年を上回った。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）